

# 湯沢市ゼロカーボン推進計画を策定しました

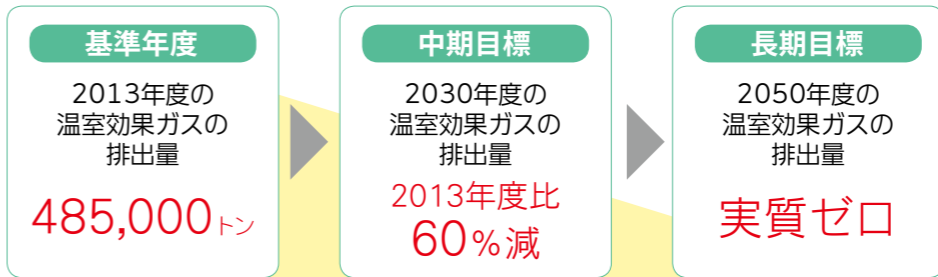
脱炭素の達成と社会・経済の同時発展を目指します

市では、脱炭素社会の実現に向けた長期ビジョンや具体施策などを定める「湯沢市ゼロカーボン推進計画」を3月に策定しました。省エネやごみの減量化などの基本的な環境対策だけでなく、地熱エネルギーや森林資源など「本市の強み」を生かした施策を積極的に展開し、持続可能で魅力的な湯沢市を創造していきます。

計画期間 令和6年度(2024年度)～令和32年度(2050年度)

- 2050年のあるべき姿
- まちづくり**
    - 市内全域で地産の再エネ電気(地熱)を使用
    - 創エネや蓄電設備の導入が進み、災害に強く住み良いまちに!
  - 地域経済**
    - 企業に脱炭素経営やサーキュラーエコノミー(循環経済)が浸透
    - 人・モノ・資金の循環によって地域経済が持続的に成長
  - 市民生活**
    - 多くの市民が脱炭素の重要性を認識、環境に配慮した行動が当たり前
    - エコ活動を通じて、ウェルビーイング(健康・幸福)な暮らし
  - 自然環境**
    - 木材の利用が促進され「きって・使って・植える」循環システムが浸透
    - 生物多様性が適切に保全

数値目標



## 基本方針1 再生可能エネルギーの普及・促進

### 再エネの積極利用によるエネルギーの脱炭素化と経済の域内循環

- ◆地熱発電所の整備推進
- ◆再エネの地産地消
- ◆新たな再エネ発電の検討
- ◆家庭や事業所での発電・蓄電設備の普及
- ◆公共施設における再エネ利用

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
8 働きがいも経済成長も  
12 つくる責任 つかう責任  
13 気候変動に具体的な対策を

## 基本方針2 省エネルギー化の推進

### 各部門の省エネの促進と高効率の設備・機器の導入で総合的な取り組みへ

- ◆住宅の省エネ化、ZEH\*1化の周知
- ◆施設の省エネ化、ZEB\*2化の周知・推進
- ◆CO2排出量の見える化
- ◆公用車のEV化、施設照明のLED化



\*1 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)  
\*2 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)  
快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のことです。

3 すべての人に健康と福祉を  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
11 住み続けられるまちづくりを  
13 気候変動に具体的な対策を

## 基本方針3 脱炭素なまちづくり

### 多様な手法を総動員し、環境への配慮を当たり前

- ◆循環型社会の形成
- ◆交通・移動の脱炭素化
- ◆GX(グリーントランスフォーメーション)の推進
- ◆持続的・魅力的な都市形成



8 働きがいも経済成長も  
13 気候変動に具体的な対策を  
15 陸の豊かさも守ろう

## 基本方針4 豊かな森林づくり

### 健全な森林整備と地域産材の有効活用で持続可能な森林経営の実現へ



- ◆適切な森林保全
- ◆地元産材の利活用
- ◆環境価値の創出

3 すべての人に健康と福祉を  
4 質の高い教育をみんなに  
17 パートナースHIPで目標を達成しよう

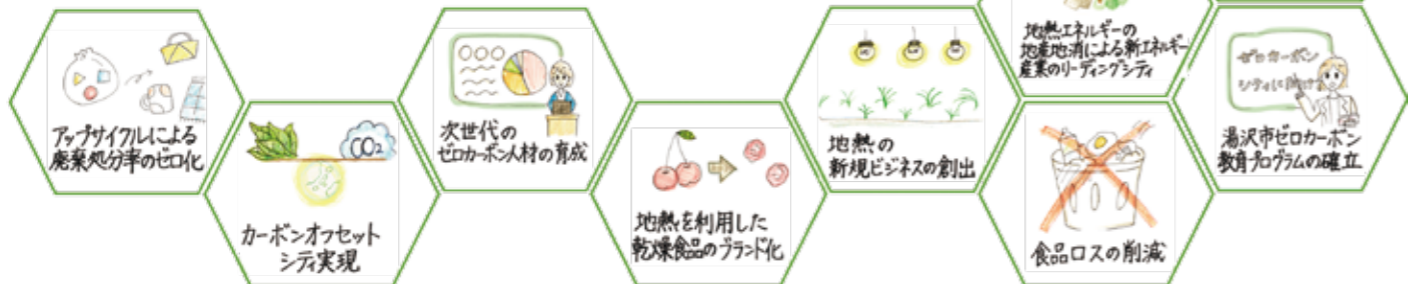
## 基本方針5 環境意識の向上

### 市民や事業者それぞれの意識付けや行動変容からオール湯沢で重層的な取り組みへ

地元高校生が描いた「将来イメージ」(秋田県立湯沢翔北高等学校/総合ビジネス科)

#### ゼロカーボンシティに向けて私達は取り組みます

2022年6月28日、湯沢市、湯沢市議会、湯沢商工会議所及びゆざわ小町商工会の4者共同により、ゼロカーボンシティ宣言を行いました。この宣言は、2050年までに市内のCO2排出量を実質ゼロにする「脱炭素化」を図るとともに、湯沢市の特色を生かしながら経済や社会の同時発展につなげ、持続可能なまちづくりを進めることを目的としています。あなたも、目標達成に向け、自分達に出来る事を一緒に取り組んでいきませんか?



# 薪(ペレット)ストーブなどを購入した方に補助金を交付します！



## 木質バイオマス導入促進事業補助金

地域産材を有効活用し、適切な森林保全に取り組みます。

- 対象**
- ①市内に住所を有する方で自ら居住する住宅へストーブなどを導入する方、または年度内に転入を予定している方で、ストーブなどを導入する住宅を購入または建築し自ら居住しようとする方
  - ②市内に事務所または事業所を有し、当該事業所へストーブなどを導入する事業者
  - ③市内に所在する住宅や事業所などの据置型のストーブなどで使用する木質燃料(薪・ペレット)を購入する個人および事業者

**補助内容** 下表の①と②の併用ができます。

	① ストーブ等導入経費	② 木質燃料購入費
補助対象経費 (税込み)	新たに導入されるストーブなどに要する費用で、5万円以上のもの。(本体購入費、設置工事費、付属品を含む。)	販売事業者からの木質燃料の購入費用で、1万円以上のもの。ただし、薪は市内の森林から産出されたものに限りま。
補助率・補助額 (千円未満切り捨て)	対象経費の2分の1 (上限20万円)	購入費の2分の1 (上限5万円)

**申請方法** ストーブなどの導入や木質燃料の購入の前に申請書に必要書類を添付の上、下記に提出してください。申請書類は、市ホームページからダウンロードできます。



**申請期限** 11月30日(土)消印有効

- 注意事項**
- ◇予算の状況により早期に終了する場合がありますので、購入前に問い合わせください。
  - ◇申請者および同居家族が市税などを滞納している場合は、補助対象になりません。
  - ◇薪またはチップを燃料とするストーブなどの導入にあっては、補助対象となる燃焼機器は二次燃焼以上の機能を備えるものに限りま。詳しくは販売店に確認してください。

問 農林課林務班 ☎ 55-8569

# ごみ減量大作戦

2030年までに市民一人当たりのごみ排出量を年間平均450g以下を目指します。

**目標** 市民1人につき毎日100g(おにぎり1個分)のごみを減らしましょう

◆広報紙に「仮称：ごみ減量化の豆知識」を定期的に掲載して、皆さんの意識を高めます。

◆毎月、広報紙の表紙に「ごみ減量速報」を掲載し、現状を見える化します。



# 計画から実行へ！

令和6年度からの新たな施策の一部を紹介します



## 生ごみ処理機を購入した方に補助金を交付します！

4月15日(月)から受け付け開始!  
(予算に限りがあります)

### 生ごみ処理容器等購入費補助金

市内の家庭から排出される生ごみの自家処理を推進し、循環型社会の形成と環境衛生の向上を図ります。

**対象** 市税など滞納がなく、市内に住所を有し、お住まいの個人で新たに生ごみ処理機\*を購入する方  
\* 電気式の生ごみ処理機のほか、コンポスト容器なども対象です。ただし、付属品や送料などは対象外。

補助内容	① 電動機能有り	② その他の容器
補助率・補助額	購入費の2分の1以内 (上限4万円)	購入費の2分の1以内 (上限5千円)
自宅再エネ電気使用の場合	購入費の3分の2以内 (上限5万3千円)	購入費の3分の2以内 (上限6万5千円)

**申請方法** 申請書に必要書類を添付の上、下記に持参または郵送で提出してください。右記二次元コードからインターネットでの申請が可能です！



※申請書類は、下記窓口および各総合支所に備え付けているほか、市ホームページからもダウンロードできます。

問 環境共生課環境対策班 ☎ 55-8069

## フードシェアリングサービス

# 「ゆざわタベスケ」(仮)を導入します！

売れ残りそうな商品がある食品店などが利用者に格安で提供する仕組み(アプリ)を導入します。準備が整い次第、広報ゆざわでお知らせします。

アプリを活用してみんなで食品ロスを減らしましょう



問 環境共生課環境対策班 ☎ 55-8069